

様式7-2

不妊に悩む方への特定治療支援事業の実施医療機関における情報提供様式（任意記載）

本項目についての記載は、必須ではありません。下記記載様式を用いて、可能な範囲で記載して下さい。

医療機関名：園田桃代 ART クリニック

治療実績について

※ 施設における、不妊治療による治療成績を記載して下さい。

（記載様式）

当院において、データの揃っている直近の1年間（2018年1月から2018年12月まで）に、治療開始時点において35歳以上40歳未満である女性に対して実施した治療の実績は以下の通りである。

【新鮮胚（卵）を用いた治療成績】

	IVF-ET	Split	ICSI	合計
採卵総回数（回）	200	0	222	422
移植総回数（回）	13	0	33	46
妊娠数（回）	0	0	5	5
生産分娩数（回）	0	0	4	4
移植あたり生産率（%）	0	0	12.1	8.7

IVF-ET：採卵により得られた全ての卵子に対し、体外受精を実施

Split：採卵により得られた卵子に対し、体外受精と顕微授精に分けて実施

ICSI：採卵により得られた全ての卵子に対し、顕微授精を実施

【凍結胚を用いた治療成績】

	融解胚子宮内移植
移植総回数（回）	569
妊娠数（回）	177
生産分娩数（回）	121（不明：24）
移植あたり生産率（%）	21.3（121/569）

来院患者情報

※ 施設を受診した患者数について記載して下さい。

（記載様式）

データの揃っている直近の1年間（2018年1月から2018年12月まで）に体外受精・顕微授精・胚移植を行った患者数（実数）は

25歳未満：（ 0 ）名

25歳以上30歳未満：（ 22 ）名

30歳以上35歳未満：（ 115 ）名

35歳以上40歳未満：（ 161 ）名

40歳以上43歳未満：（ 84 ）名

43歳以上：（ 27 ）名

データの揃っている直近の1年間（2018年1月から2018年12月まで）に精巣内精子採取術を行った患者数（実数）は

20歳未満：（ 0 ）名

20歳以上30歳未満：（ 0 ）名

30歳以上40歳未満：（ 0 ）名

40歳以上50歳未満：（ 0 ）名

50歳以上：（ 0 ）名

治療指針について

※ 施設における統一された治療指針がありましたら記載して下さい。

○ 必要な検査を行い、診断をつけたうえで必要適格な治療を選択することを不妊治療の基本としている。

○ ステップアップ・ダウンについて

検査結果（ホルモン値、AMH、内膜症等の婦人科疾患合併の有無、精液検査等）、及び年齢、治療歴を考慮し、個々の状態に合わせ、治療周期回数やステップアップ時期を判断している。

ステップダウンに関しては、患者の社会的状況（仕事、家庭）や、患者自身の希望等により判断し行っている。

○ 調節卵巣刺激法

可能な限り、少ない採卵回数、治療期間の短縮化を目ざし、複数の卵子回収ができるよう刺激を行っていくことを基本としている。

卵巣機能（AMH、FSH値、胞状卵胞数）をしっかりと評価し、使用薬剤、投与方法、量を決定していく。

刺激を行うことで、複数の卵子が回収できると、一回の採卵での胚移植回数が増える。そのことにより、一回採卵当たりの妊娠率が増加し、結果的に患者の負担は軽減することが予想される。

また、第二子・第三子を考える際に、若い年齢での採卵時の凍結胚を用い、治療を行うことができ妊娠の可能性が上がる。卵巣機能が極端に悪い人や高齢の場合は刺激をしても卵巣反応性が低いことにより、自然低刺激を行う。